

施策番号	1704		
施策名	健康危機に対する安全・安心の確保		
概要	新型インフルエンザをはじめとする感染症や食中毒等の健康危機事案に対し、市内の医療機関等との連携により、迅速かつ的確な予防と蔓延の防止対策を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・保健衛生推進室	共管局・部室	
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関する主な分野別計画等			

施策の評価

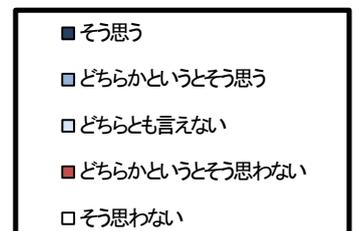
1 客観指標評価

指標名	23年度	24年度	25年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 腸管出血性大腸菌による感染症の発生件数(件)	b	a	30	27	30	110.0%	a	1.00	
2 定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数の全国比(%)	c	e	77.7	75.1	55.2	63.9%	d	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	c	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	25年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。	55 10.9%	195 38.5%	189 37.4%	48 9.5%	19 3.8%	506	b	
2 -								
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							b	



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					24 年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	b	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 健康危機に対する安全・安心の確保は、市民生活に密接に関わる施策であることから、市民生活実感調査を重視する。						23 年度	B
(原因分析) ・みやこ健康・安全ネットや印刷物等による啓発活動を強化した結果、腸管出血性大腸菌による感染症発生件数を、昨年度に比べさらに減少させることができた。 ・インフルエンザは平成23年度に引き続き、全国的に流行し、本市でも2年連続で警報発令レベルとなったため、d評価となった。 ・市民生活実感調査については、平成21年度の新型インフルエンザの流行等によって市民の意識も高まってきていることから、b評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	感染症予防対策	29,537	32,708	かなり良い	保健福祉局
2	結核・感染症発生動向調査	42,368	41,396	普通	保健福祉局
3	性感染症対策	19,242	18,024	普通	保健福祉局
4	O157等腸管出血性大腸菌対策	24,823	23,723	かなり良い	保健福祉局
5	エイズ対策	46,896	47,559	良い	保健福祉局
6	肝炎ウイルス検査	12,231	12,960	普通	保健福祉局
7	定期結核	57,728	62,966	良い	保健福祉局
8	定期外結核	21,966	29,516	普通	保健福祉局
9	結核対策特別促進事業	25,395	23,769	かなり良い	保健福祉局
10	成人用肺炎球菌ワクチン接種	12,194	27,164	かなり悪い	保健福祉局
11	飲料水衛生管理指導	115,328	116,205	良い	保健福祉局
12	建築物衛生(ビル衛生管理)	114,856	115,478	良い	保健福祉局
13	薬物乱用防止啓発事業	4,146	4,527	かなり良い	保健福祉局
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・平成25年4月13日に施行された新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、新型インフルエンザ等対策を総合的に推進するための京都市行動計画の策定を進めるとともに、引き続き、市民や関係団体に対する注意の喚起や、新興感染症等に係る啓発、予防接種の勧奨等に努める。
 ・感染症や食中毒等が実際に生じた際には、市内の医療機関等との連携により迅速・的確な予防と蔓延防止の取組を進める。

施策名	1704	健康危機に対する安全・安心の確保
-----	------	------------------

指標名	腸管出血性大腸菌による感染症の発生件数（件）
-----	------------------------

担当課	保健医療課	連絡先	222-3411
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明
 O111, O157等の腸管出血性大腸菌による感染症発生件数

2 指標の意味
 感染症の発生状況を示す指標

3 算出方法・出典等
 算出方法：各年度の発生件数の合計
 出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	30	27	3件減	30	過去5年間の最低値	110.0%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

5 評価基準
 最新の数値が
 a: 過去5年間の最低値以下
 b: 過去5年間の最低値と下中間（最低値と平均値の間）の間
 c: 過去5年間の下中間と平均値の間
 d: 過去5年間の平均値と上中間（平均値と最高値の間）の間
 e: 過去5年間の上中間以上

6 基準説明
 過去5年間の数値を基に、過去5年間最低値以下をa、平均値以下をcとし、最高値も含めた按分で基準を設定した。
 最低値：30件（平成23年度）
 平均値：58件
 最高値：92件（平成21年度）

7 評価結果

23	24	25
b	a	a

指標名	定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数の全国比（%）
-----	-----------------------------

担当課	保健医療課	連絡先	222-3411
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明
 インフルエンザの流行発生状況の指標となる定点当たり報告数の全国比

2 指標の意味
 感染症の発生状況を示す指標

3 算出方法・出典等
 算出方法：本市の定点医療機関当たり報告数（年間） / 全国の定点医療機関当たり報告数（全国）

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	77.7	75.1	2.6ポイント減	55.2	過去5年間の最低値	63.9%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						本市の定点医療機関当たり報告数：185.2件（平成24年度） 全国の定点医療機関当たり報告数：246.7件（平成24年度）

5 評価基準
 最新の数値が
 a: 過去5年間の最低値以下
 b: 過去5年間の最低値と下中間（最低値と平均値の間）の間
 c: 過去5年間の下中間と平均値の間
 d: 過去5年間の平均値と上中間（平均値と最高値の間）の間
 e: 過去5年間の上中間以上

6 基準説明
 過去5年間の数値を基に、過去5年間最低値以下をa、平均値以下をcとし、最高値も含めた按分で基準を設定した。
 最低値：55.2%（平成22年度）
 平均値：63.8%
 最高値：77.7%（平成23年度）

7 評価結果

23	24	25
c	e	d